

CEOメッセージ 43号

## 木質ハイブリッド構造・日集協大臣認定取得 金沢市で着工5階建てビル着工

第3の集成材として、鋼材を集成材で耐火被覆した「木質ハイブリッド構造」による5階建てビルが、石川県金沢市駅前に「金沢エムビル」の名称で着工した。1階はRC造りで、2階からが木質ハイブリット構造である。建築面積は179m<sup>2</sup>、延べ面積375m<sup>2</sup>、完成は今年9月も予定だ。4階建て超の建築物には、1時間耐火認定が必要だ。一時間加熱して、放置して自然消火する性能が必要だ。国土交通省が鉄骨石綿材被覆による環境問題の解決策として、技術開発を進めてきた。これにより、今まで使用できない分野にも集成材が使用できるようになること。現しで、柱や梁にも使用できるようになり、付加価値が付くことなど、第3の集成材とし、集成材ならびに木材の需要開発に貢献することができると期待されている。

## CEOメッセージ44号

平成17年4月21日

木と健康ー1

人間の健康とはどんなことかとか？病気の無いことだけではなく、その人が持っている能力が最大限発揮できる状態にあることを健康というのではないでしようか、健康のもう一つ上の状態を快適性と言うとすれば、快適性とは、外部の環境と、その人の持つて生まれた生活リズムが同調している状態で、表面の能力を超えた遺伝として持つてている能力まで発揮できる状態である。木材情報 木と健康シリーズは森林総研 宮崎良文先生 資料より参照

45号

木と健康ー2

人は、森で生まれ、森で木を見ながら、そして木のなかで、木から影響を受けて育った。人は、ヒトになってから500万年、人の遺伝子には、木が刷り込まれている。

ヒトが木を見て、ほっとするのは、遺伝子に刷り込まれたリズムと同調するからだ。

人間は森に入ればホッとする、木を見れば、心に安らぎを覚えるのは人間の生理機能が、自然と対応できるよう作られているからだ。

46号

木と健康ー3

現代のコンクリートや、鉄化学物質の固まりである人工化された社会のなかで、人間は持つて生まれた生理機能が作用せず、押し込められて人間の生理機能は常に不満がたまっており絶えず緊張が続き、これがストレスとなって人間の健康を阻害している。

この緊張状態即ちストレス状態を無くして、人間が持つてている能力を最大限発揮できる状態に持っていくことが出来るのは、人間の持つている遺伝子に働きかけていくことであり、森の持つ特性、即ち木が持つているほかにない優れた特性である

## CEOメッセージ 47号

### 木と健康—4

木が如何に人間の健康に良いか、定義はいろいろあるが、ここに人間が感じる「快適性」がポイントとなっている。「快適性」とは「気持ちの良く感じること」である。快適性をさらに分割して、積極的快適性と消極的快適性にわけてみると、消極的のほうは、不快の除去つまり、気分の悪い状態を除くことをいみするのであり、積極的快適性とは、自ら進んで快適になりたいこと、気分良くなりたいことを指すのではないか、木材から我々が求めるのは積極的快適性を、木とかかわることにより、求められ満足することが出来るのではないか、人間は森に生まれ、森で育ち、今も家にかわった森に住んでいる。森が木造住宅に変わった家だ。人間は森に生まれ、森に育ち、今も森に住んでいる。人間は木材に近いところにいれば快適性が得られるというのは、現在の人工化された環境によるストレスにより過度の緊張状態が続いている。木 近づけば、人間の生まれながらに持っているものと同調して、生体が鎮静化されることが実験データーにある。これが人間のリラックス状態という言葉で表現されている。木材情報 宮崎 良文先生 より 参照

## 48号ウッドデッキのセブンイレブン

6月21日オープン

弊社では、いつでも間に合うウッドデッキのセブンイレブンを、オープンしました。お問い合わせ、お見積もり、ご注文、入出荷に関する荷捌きデリバリーなどについて、ご要望にお答えすることが出来る体制が整いました。ご用命賜りますようお願い申しあげます。

Woody-art-Hosoda

デッキ材の王様イペ商品・受注当日荷揃えサービスのお知らせ

増え続ける邸別デッキ等イペ材の短納期の応えて

いつでも間に合うウッドデッキのセブンイレブン・コンビニ化

- ・ ブラジル直輸入の豊富な在庫・注文寸法も・お手のもの
- ・ 毎週月曜日配信のデッキ在庫リストご参考に
- ・ リード加工から、ご注文寸法など、なんでも新木場工場ご利用を
- ・ 好評の簡単、安心、短工期施工のパテオデッキシステム
- ・ お任せください！！イペの材料・加工・施工まで
- ・ デッキ工事は当社の実績豊富・熟練施工チームに御用命のお待ち申しあげております。

5年6月27日

C E O メッセージ 49号

矢野経済研究所の調査によれば、04年度のエクステリア市場は、2653億円で前年比0.4%の増加した。住宅市場が後退するなかで、消費者ニーズの多様化に応えて、エクステリア市場が縮小の歯止めとなっており、今後も認知向上などで市場の増加が期待できる。品目別シェアでは、約40%が門扉やフェンス、カーポート、物置などが続き、ウッドデッキの人気がプラスに貢献した。施工店のアンケート調査によれば消費者の関心の度合いが90%弱に達しているほどの人気商品だ。戸建て住宅では、予算、防犯性、の次に快適性を上げており、エクステリアへの関心の高さがうかがえる。

CEOメッセージ 50号 5年7月18日

兼六園

加賀百万石の城下町石川県金沢市は、犀川と、浅野川に挟まれ、中央に金沢城、兼六園、周囲には武家屋敷跡、東西にある茶屋街、寺町などがある。百万石通り、加賀友禅、和紙、薬の産地としても有名なところだ。古風なだけではなく、木造の大きな「鼓門」が訪れる人を歓迎し、正にレトロと抱合した近代都市金沢である。なかでも特筆すべきは金沢城に面した兼六園である。そもそも、この庭は金沢城の外郭庭園として城に属したものであった。1822年12代藩主前田斉広公が、洛陽名園記の文中から宏大・幽邃・人力・蒼古・水泉・眺望の六勝兼備するとして、兼六園と命名した。江戸時代の代表的な林泉回遊式大庭園の特徴を残している。園内は名前の通り六勝を備えた素晴らしい庭園だが、なかでも有名なのは、「唐崎松」の枝ぶりは素晴らしいものだ。



## CEOメッセージ 51号

### Mビル 木質はブリッド建築第一号

5年6月石川県金沢市JR金沢駅前の、エムビル・美術デザイン研究所ルネッサンスを視察した。このビルの構造躯体の、柱は「木質ハイブリッド角鋼内臓集成材柱」梁は「木質ハイブリッド平鋼内臓集成材梁」を使用、いずれも国土交通大臣の一時間耐火認定を取得した製品使用した画期的な木質複合構造の第一号建築物である。しかも敷地面積35坪、延べ床面積113坪5階建て、建築面積22.6坪、一階鉄筋コンクリート構造、2階～5階までが木質複合構造である。防火地域にも木造建築物の建築可能第一号として評価されるべきものである。これを突破口として各地で木質複合構造の建築物が建てられることを期待申しあげる。ここまでこぎつけた関係各位にご努力とご尽力に改めて敬意と感謝を申しあげる次第でございます。



## CEOメッセージ 52号

### 植樹祭

今年の植樹祭は、茨城県の潮来市を主会場に、大子市を第二会場にして実施された。

前夜祭は潮来市のホテルで行われ、天皇、皇后両陛下のご臨席を賜り、全国から関係官庁の関係者、全国団体の長など恒例に従って出席し厳粛なうちにも盛大に行われた。

天皇陛下へのご挨拶は例年のとおり、天皇皇后両陛下がお並びでおたちになって、面接をお受けになりお言葉を賜っていた。自分は順番の最後で時間切れすれすれに、天皇陛下にお目どうりの順番が来た。ご挨拶は、「私は木場の材木やでございます」「新宮殿に材木を収めさせていただきました。」と申しあげると、陛下は「木材は良い材料ですね」とお言葉を頂きました。続けて私が「集成材とツキ板をお使い頂き有難う御座いました」と申しあげますと、陛下は無言でうなずかれました。ここで時間切れとなり、宮内庁の職員に導かれてながら、陛下は周囲にご挨拶しながら退場された。わずかな時間であったが陛下から「木材はよい材料ですね」とお言葉を頂いたことは、時間切れ寸前の最後の時間、お言葉をいただけたことは、全くの幸運であり、木材の業界としてこの上ない名誉と心得ている。

二言目の集成材・ツキ板と申しあげたが、ご理解いただかなかつたのでは、専門用語を使って、失礼を申しあげた、と反省した。いずれにしても幸運な一日であった。



### 53号 水戸 弘道館・偕楽園

植樹祭から水戸経由で帰るコースに参加した。水戸は茨城県の県庁所在地であり中心部だ。水戸光圀公の教えが今に生きる弘道館・水戸藩のお庭として有名な偕楽園を視察した。弘道館は、呼んで字のごとく、水戸藩子弟を預かる教育の場であり、藩公の精神がそのまま生きる修行の場である。この場が明治維新徳川が崩壊し、朝廷が天下を取る大政奉還のとき、水戸藩同士で、あくまでも徳川に忠誠を誓う守旧派と、朝廷の命を受けた薩摩・長州連合の新政府に同調する派が、水戸藩同士で激しく対立、戦った銃火の跡が、弘道館の正面玄関に残っており当時の激しい戦いをものがたっている。偕楽園は弘道館に並ぶ丘領地の一角にあり、池を望んだ風景絶佳のお庭である。なかでも感動したのは、明治維新当時の建物がそのまま保存されていることだ。歴代のご当主が徳川ご三家として、如何に質実剛健、質素のなかにも、ご先祖からの伝統と文化を伝えることに腐心したことが案内ガイドさんの説明で理解できた。それにしても素晴らしい木造建築物が保存されているのに感動を覚えた。

### 53号 水戸 弘道館・偕楽園

植樹祭の帰途は水戸経由があり参加した。弘道館と偕楽園の観察が組み込まれている。かねてから弘道館と偕楽園は是非みたいとの思いがあったので参加した。弘道館は徳川御三家の筆頭水戸藩の子弟を教育する場として建てられ、明治維新で幕府が大政奉還する日まで水戸藩の重要な位置を占めていた。残念なのは幕府側の水戸藩内部でも意見がわかれあくまでも徳川に忠誠を誓う守旧派と、錦の御旗を押し立てた薩摩・長州いわゆる薩長連合とが激しくぶつかり合い、弘道館にも銃火が飛び交い今でも正門に銃弾の跡があり争いの激しさが伺われる史跡だ。風光明媚な偕楽園は、水戸藩の奥座敷として、弘道館に隣接するなだらかな丘陵地帯にかけて緑に囲まれた池を中心とした流石徳川御三家のお庭である。そして嬉しいことに、メンテ充分の、木造建築物が大切に保存されている。ここで今更ながらの意を強くしたのは、なんでもそうだが、木造住宅はメンテさえしっかりとすればいつまでの保存できることを発見した。

